

2019年10月11日

下水道・土木施設見学ツアー2019 in 函館 報告書

GKP 北海道



GKP 北海道は10月に、「下水道・土木施設見学ツアー2019 in 函館」を行いました。昨年は胆振東部地震のため、下水道関連施設の見学ツアーを見送りましたので、今年は2年ぶりの見学ツアー開催となりました。開催結果は以下のとおりです。

①開催日時：令和元年10月4日（金）10時～17時

- ・当日の午前中はあいにくの雨でしたが、昼過ぎには雨が上がり、午後の現場見学については傘を差さずに行うことができました。

②参加者：11名

- ・札幌市のGKP会員が中心でした。

③施設見学1（函館市南部下水終末処理場）10時～12時

- ・函館市企業局上下水道部ご協力のもと、南部下水終末処理場を見学しました。
- ・最初に、処理場の維持管理を担当されている月島テクノメンテナンスサービス株式会社様より、施設概要の説明を受けました。
- ・中央操作室に移動後、維持管理に関する活発な意見交換が行われました。
- ・消化ガス発電施設の立ち上げを見学し、エンジンの爆音に驚きました。



④昼食 (Cafe&Deli MARUSEN) 12時～13時

- ・昼食会場のあるニチロビルは、1934（昭和9）年に建てられたRC造ビルです。築85年とは思えないほど、綺麗にリノベーションされています。料理も美味しく、良い時間を過ごせました。



⑤施設見学2（函館漁港船入澗防波堤）13時～14時

- ・函館漁港は、イカ釣り漁業の拠点です。ここに位置する船入澗防波堤は、1899（明治32）年に完成した石積防波堤であり、現役です。当時の高い技術の成果を観察できました。



⑥施設見学3（様々なマンホール）14時～15時

- ・函館市の下水道整備は、雨水排除を目的に明治後期から始まりました。市電通り沿い2箇所において、新旧様々なマンホールを観察しました。
- ・カラーマンホールの近くにマンホールカード配布場所がありました。カラーマンホールと一緒に写真撮影をする一般の方がおり、マンホール熱の高まりを感じることができました。



⑦施設見学4（五稜郭）15時～17時

- ・五稜郭は、1857（安政4）年に着工された、日本初の西洋式要塞です。
- ・ここには、亀田川から水が引かれ、排水設備も設けられていました。その様子を五稜郭タワーの展望台や地上から観察し、また復元された箱館奉行所を見学（希望者のみ）することで、函館では道内の先陣を切って近代的な上下水道施設が整備されたことを学習しました。



なお、本ツアーの企画にあたり、函館市企業局、月島テクノメンテナンスサービス株式会社、株式会社ノース技研 布村社長の皆様にアドバイス・資料提供をいただきました。厚く御礼申し上げます。



以上